

# BPT(バイオマスプロジェクトチーム)だより No.64

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kankyou-kendo/kankyou/junkan/biomass/index.html>

平成26年3月12日

バイオマスプロジェクトチーム

(環境生活部 資源循環推進課)



## ごあいさつ

平成15年に発足した当チームは今年度で11年目を迎えました。バイオマスは収集や運搬、そして出口のそれぞれに解決すべき課題があり、その解決なくしては、決して有効利用の道が開かれることはありません。

今後とも「千葉県バイオマス利活用推進計画」に基づき、各種取組を推進し、関係各課が連携し、課題解決のための活動を行ってまいりますので、引き続き御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 1. トピックス

### ○平成25年度バイオマス利活用研修会

循環型社会の形成や地球温暖化の防止において重要な役割を担うバイオマスの利活用について、県民の皆様の理解を深めていただくため、平成26年1月28日に研修会を千葉市ビジネス支援センター(きぼーる)にて開催しました。

当日は51名の方に御参加いただき、バイオマスとはどういうものか分からない方もいるため、まずはバイオマスの基礎的事項について、講義を行いました。

次に、実際の取組を紹介することでバイオマスを身近に感じていただくため、ジャパン・リサイクル(株)と南房総市に協力いただき、企業及び市町村の取組事例を紹介しました。

取組事例紹介では、「食品廃棄物のリサイクル(バイオガス化)について」と題して、ジャパン・

リサイクル(株)取締役の山田純夫氏から講演をいただきました。ジャパン・リサイクル(株)千葉バイオガスセンターでは、食品廃棄物等を原料としてメタン発酵処理し、メタンガスを回収しています。回収したメタンガスは、製鉄所へ燃料ガスとして供給しています。また、発酵残さはジャパン・リサイクル(株)千葉リサイクルセンターのガス化改質炉で再処理して100%再資源化しているとの紹介がありました。

もう1つの取組事例紹介では、「南房総市のバイオマス利活用への取組～木質バイオマス暖房機導入普及事業の展開～」と題して、南房総市農林水産部地域資源再生課の押元主任主事から講演をいただきました。南房総市では、薪を原料とした暖房機(施設園芸用)の導入普及事業を展開しており、暖房機設置費等への補助を行っているとの紹介がありました。



来年度も県民の皆様を対象とした研修会を開催し、事例紹介等を行うことで、バイオマス利活用への更なる関心を高めていただきたいと考えております。

## 2. 市町村等との連携

### ○バイオマス利活用施設（南房総市）における二酸化炭素削減効果の評価について

南房総市にあるバイオマス利活用施設（バイオディーゼル燃料製造施設）における二酸化炭素排出量削減効果を、県環境研究センターと共同で評価した結果、軽油を使用せず、バイオディーゼル燃料（BDF）を製造・使用することにより、年間約1万3千～1万6千kgの排出量を削減できることが分かりました。

#### <評価対象施設概要>

- ・南房総市千倉清掃センター（南房総市千倉町南朝夷789）内にあるBDF製造施設
- ・施設では、家庭や給食センターから集めた廃食用油を原料としてBDFを製造し、ごみ収集車や千倉清掃センター内の重機に使用しています。



#### <評価方法>

- ・評価には、製品等の生産から廃棄まで一貫して定量的にエネルギー効率や環境への影響を評価するシステムであるLCA（ライフサイクルアセスメント）を用いました。
- ・平成20年度途中からBDFを製造し始めたため、平成21年度以降について、原料となる廃食用油の収集や、BDFの製造・使用工程での二酸化炭素排出量を計算し、軽油を使用し続けたと仮定した場合の二酸化炭素排出量と比較しました。

#### <評価結果>

（単位：kg）

	BDFを製造しなかった場合の二酸化炭素排出量	BDFを製造した場合の二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出削減量
H21	30,798	16,026	14,772
H22	32,414	19,256	13,158
H23	32,765	17,135	15,630
H24	30,158	17,285	12,873

※詳細はホームページを御覧ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/biomass/h25lca.html>

### ○平成25年度廃棄物対策清掃事業研修会

市町村や一部事務組合を対象とした研修会が、平成25年7月26日に千葉市ビジネス支援センター（きぼーる）にて開催されました。

バイオマスプロジェクトチームも講義時間をとり、バイオマス活用推進計画について講義を行いました。

県では、バイオマス活用推進計画を平成23年7月に策定して取り組んでいるところですが、県内ではまだバイオマス活用推進計画を策定した市町村はありません。計画の策定が努力規定であることや、全ての市町村がバイオマスの活用に取り組みやすいわけではないことが考えられます。

各市町村で事情はさまざまかと思いますが、これからバイオマスの活用に積極的に取り組んでいこうという市町村は手引きを参考にして計画を策定願います。(農林水産省 HP : [http://www.maff.go.jp/j/shokusan/biomass/b\\_kihonho/local/keikaku\\_sakutei.html](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/biomass/b_kihonho/local/keikaku_sakutei.html))

### 3. 関連業務

#### ○平成25年度エコフィードコーディネーター設置事業「第1回・第2回利用推進会議」

千葉県畜産協会の主催により、第1回利用推進会議が、平成25年8月23日に県畜産総合研究センターにて開催されました。

平成24年度事業実績、エコフィード利用に関する今後の取組について、畜産協会から説明があった後、関係者で情報交換が行われました。

また、平成26年1月8日には、第2回利用推進会議が開催され、平成25年度事業の進捗状況及び今後の取組について説明があった後、情報交換が行われました。

#### ○平成25年度エコフィード研修会

千葉県畜産協会の主催により、養豚組合等を対象とした研修会が、平成25年12月5日に旭市「黄鶴」にて開催されました。

(有) アリタホックサイエンス 取締役会長の在田正則氏から、「食品原料を有効利用する取り組み」について、また、(株) 恋する豚研究所 代表取締役の飯田大輔氏から、「恋する豚の販売戦略と六次産業化」について講演がありました。

#### ○「平成25年度木質バイオマス供給体制整備事業」 ポータブルロープウインチを使った搬出実演の見学会

県農林総合研究センター森林研究所の主催により、搬出実演の見学会が、平成25年12月26日に森林研究所にて開催されました。

簡易な搬出用機械で、小規模な利用に向いているポータブルロープウインチを使い、コナラ及びスギの伐採木搬出実演が行われました。

ポータブルロープウインチは、作業道がなくても森林内への持ち運びが可能であり、機械の操作は容易でロープを軽くたぐるだけといった特徴があります。また、地引であれば特別な資格は不要です。価格は50～60万円、重量は15kg、動滑車の使用で2トンまで牽引可能と紹介がありました。



牽引部分 (動滑車)



牽引全景



## 4. 普及啓発活動

### ○各種イベントでの木質プラスチック製品配布等による普及啓発活動の実施

下記イベントにおいて、木質プラスチック製品やバイオマス関係パンフレットを配布する等、普及啓発活動を行いました。

イベント名	開催日	開催場所
エコフェアいちほら	6月15日	市原市勤労会館
エコメッセ 2013 in ちば	9月28日	幕張メッセ国際会議場
千葉市科学フェスタ 2013	10月12日	千葉市きぼーる
千葉県農林総合研究センター公開デー	10月26日	千葉県農林総合研究センター
平成25年度千葉県3R推進シンポジウム	10月29日	千葉県文化会館
第1回いすみふるさとまつり	11月3日	岬運動場
EVI 環境マッチングイベント 2013	11月11日	東京国際フォーラム
安房地域ふるさと農山漁村俳句・写真・ポスター展&森の体験教室	12月15日～21日	千葉市きぼーる
コープみらいフェスタ きやっせ物産展 2014	2月23日	幕張メッセ国際展示場

<イベントの様子>



【エコフェアいちほら】



【エコメッセ 2013 in ちば】



【千葉県農林総合研究センター公開デー】



【第1回いすみふるさとまつり】